

第 2 5 2 回 月 例 薬 学 セ ミ ナ ー

(平成 2 8 年 度 第 2 回)

日時：平成 2 8 年 5 月 1 6 日 (月) 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

場所：静岡県立大学 小講堂

世話教室：生命物理化学教室

対象：大学院生、学部生、教職員 (学外からの参加も歓迎致します)

演題：創薬を指向した構造生物学

演者：清水 敏之 博士 (薬学)

東京大学 大学院薬学系研究科 教授

概要：

構造生物学は生命現象の担い手であるタンパク質の働きを立体構造の観点から解明し、その分子機能と関連する生命現象を解明しようとする学問分野である。分子の立体構造の解明によってその分子の実体を視覚化することができ、実感的な理解を可能とする。その一方で立体構造情報は創薬研究にもつながる。ここでは我々が推し進めている自然免疫にかかわる Toll 様受容体 (Toll like receptor: TLR) の研究を中心に、構造情報から何がわかったのか、さらにその構造情報をいかに生かしたのかを紹介したい。

自然免疫システムは病原微生物感染に対する重要な生体防御システムの一つであり、そこで中心的な働きをする TLR は細菌やウイルスなど病原体の分子パターンを認識するセンサーとして働く。本講演では一本鎖 RNA を基質とする TLR8 に注目しその活性化機構、リガンド認識機構、TLR8 の作動薬の開発などに触れる。

「薬品物理化学特論」受講の大学院生は必ず出席すること。

月例薬学セミナー委員会

問い合わせ先：

静岡県立大学薬学部

生命物理化学教室 橋本 博

TEL: 0 5 4 - 2 6 4 - 5 6 4 4

E-mail: hash@u-shizuoka-ken.ac.jp